相馬村広報

りんごの森

2024 3 No.500

特集１
りんごの森 第500号記念

特集２
ベトナム市場から見る 県産リンゴの方向性

表紙の写真：２月24日 沢田ろうそくまつり 参拝

JA_SOUMAMURA

祝

りんごの森 第500号記念

広報誌の転換期に担当をしていた３名にインタビュー！
～制作にかける想い～

成田 正晴 さん（紙漉沢）

入組してすぐ第１号から広報誌を担当。指導員で畑に行きながら毎月発行。

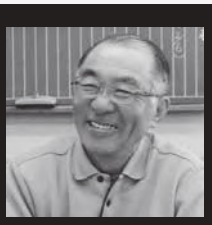
１号～141号を担当

当時の指導課で、上司が石岡昭弘さん（後の参事）でした。農業大学校を卒業して入組すると、すぐに広報担当となりましたが、最初は右も左もわからない。畑に行って組合員に農業を教えてもらいながら、何とか書いていました。当時は、地域のことというよりも、指導情報中心に発信しました。パソコンなど使っていない時代だったので、取材や執筆以外にも手間がかかって大変でしたが、『毎月発行すること』を目標になんとか作っていました。

また『見てる人は見てる』のが広報。１人でも見てくれる人のために、取り組んでいました。

そして、自由に書けるのが広報の良い部分。この達成感は担当した人でないと分からないと思います。

今回５００号ですが、これからもずっと続けてもらいたいと思います。



田澤 俊則 さん（紙漉沢）

教育に力を入れて広報誌を作成。『林檎の森』という名称にし、当時の題字も直筆。

142号～164号を担当

私より以前までは指導課が8ページ受け持っていましたが、それを16ページにしました。とにかく誤字脱字がないように、国語辞典をいつも傍らに置きながら書いていました。また、中央会の広報部長をやっていた秋田義信さんに指南書をもらって書き方など勉強しました。写真もいいのだけど、私は、営農や道徳も含めた『教育』として面白いものにしたいと思い、活字を多くしました。そうして書いていたら、ある人から「広報が読み物として良い」と言われたのです。当時６００人ほどの組合数。みんなに広く見てもらう広報誌も大事ですが、たった1人に届く広報誌も、いいもんだと思いました。

広報誌は、ＪＡと組合員、ＪＡと地域を繋ぐもの。これからの広報にも期待しています。

山内 利彦 理事部長

特集記事に毎号企画を組んで掲載。広報誌をカラー込み16ページの現在の形にした。

236号～274号 286号～308号を担当

私が担当する以前はモノクロでしたが、写真をきれいに見せようとカラーページを追加しました。広報担当は2回経験していますが、当ＪＡ広報の特徴でもある巻頭の特集ページ編纂は大変でしたね。県外に出かけて珍しい取り組みを取材したり、組合員との様々な対談も企画したりしました。写真やタイトルのレイアウトにも工夫を凝らし、約１０００部発行する広報誌を一人でも多くの方に飽きさせずに読んでもらいたいその一心で当時、頑張っていました。

今年は当ＪＡが60周年を迎える節目の年です。当ＪＡの足跡を後世に伝えるためにも50周年記念誌に続き、この10年をまとめた冊子をまた作りたいと考えています。その土台となる広報「りんごの森」は５００号を迎えましたが、今後も途絶えることなく続くことと思います。

発行５００号を迎えた当広報誌。名物コーナーをピックアップしてご紹介！
相馬村農協広報誌、名物コーナーの変遷

1973年 8月	１号	『そうまむら農協だより』 Ｂ５版、白黒の新聞形式で創刊。
1976年	13号	『そうま農協』に名称変更、 組合員数760人。
1981年	22号	『けっぱれ!!カアチャン』 表紙
1982年	38号	『はりきりフレッシュ』 表紙
1985年	73号	『わが家のめごこ』表紙
1992年	142号	『林檎の森』に名称変更
1993年	150号	『笑』裏表紙
1994年		直売所オープン！ 管内２農協が合併。
1995年	175号	『ないすかっぷる』夫婦を紹介
2002年	236号	『りんごのもり』に表記変更
2004年	260号	『林檎の森』に表記変更
2004年	261号	裏表紙『イキイキLady』 管内の女性を紹介
2006年	286号	『相馬のＡース』 裏表紙、青年農家を紹介
2009年	322号	『今月の表紙』 裏表紙で表紙写真を紹介
2011年	345号	『JA青年部のめごこ』 『相馬のめごこ』
2015年	395号	『地域おこし協力隊活動記』
2016年	405号	『ひときわ輝くパートナー』 組合員、運送業者トラックを紹介
2019年	441号	『表紙物語』表紙写真を紹介
2022年	480号	『りんごの森』に表記変更
		現在に至る…

ベトナム市場から見る県産リンゴの方向性

ベトナムの経済と果実需要

ベトナムは、外資系企業の製造拠点として発展してきていたが、近年は平均所得の増加に伴う富裕層、中間層の増加により、消費市場としての大きな可能性が注目されている。経済成長率は、2010年から平均して5～6％を維持し、過去10年で一人当たりGDPは約2倍となっている。

ベトナムには日常的に果物を食す文化がある。日本における食後のデザートのように、食後に必ずといっていいほど果物を食べる。首都ハノイの平均年齢は32歳、最大都市ホーチミンでは29歳と、日本より子供や若者が多い。買い物需要は旧正月が最盛期で、本県産リンゴも、それに合わせた形で輸出がピークを迎える。ベトナムの平均月収は、都市部で約3万4000円、富裕層は約5万9000円（2022年）となっており、1.6倍ほどの開きがあり、若年の富裕層も年々増加している。

若年層への訴求と評判

このような背景から、ベトナムの販売店では、若い富裕層をメインターゲットにした販売戦略が打ち出されている。具体的には、SNSなどのオンラインを活用したプロモーション、ネット販売、写真映えするパッケージや、インフルエンサーを招いた店頭イベントの開催だ。

ベトナム向けについては当初より、他国産と異なり、大玉で見映えのよいりんごを高価格で販売するという手法をとってきた。国内では1玉330円のふじが、輸送などの費用はかかるものの、ベトナムの店頭では440～610円（R6年1月末）で販売される。物価の違いも考慮すると現地では非常に高級な果物だ。しかし、県産リンゴは前述のような販売戦略と、その品質の良さが魅力だと、贈答品として認知・定着しており、好評を博している。

市場動向調査

今回視察した販売店は、ホーチミンを中心に大手スーパーマーケットへの販売を行っているトニーフルーツ、ハノイを中心にベトナム国内で50店舗を展開し富裕層をターゲットにしているクレバーフルーツ、イオンモール2店舗（ハノイ・ホーチミン）、ファミリーマート2店舗（ホーチミン・その近郊）だ。

最も取引量の多いトニーフルーツ店頭では、本県産リンゴは、他国産と比較して2.7倍ほどの値段で販売されていた。その他の販売店に関しても、1.3～2.3倍となっており、県産リンゴへの信頼と、消費

KLEVER FRUIT

若年層を意識したインフルエンサーの撮影

TONY FRUIT

高級感があり、目を惹くパッケージ（図1）

Family Mart

キレイに個包装され、強調される本県産リンゴ

平場に山積みで販売されるフランス産リンゴ

者の需要が伝わってくる売場となっていた。

上記に掲載した写真を見ると、フランス産リンゴとのパッケージの差から、値頃感のある外国産は日常用、価格の高い本県産は贈答用といった用途で販売されているようであった。また、インフルエンサー起用イベントから、若い世代をターゲットに展開されていることがわかる。

産地の信頼維持の重要性

令和5年産リンゴは天候や鳥獣被害に見舞われ、生産者は苦労も心労もあっただろう。ベトナム輸出リンゴも例外ではなく、サビ・褐斑病・着色不良・軟質化を指摘される状況であった。ベトナム輸出をするには園地登録を行い、年2回の検査に合格をする必要がある。手間と時間をかけたにも関わらず、消費者が食べる頃には軟質化や褐斑病がおきていたらどうだろうか。産地の信頼は落ち、消費者離れが起きてしまうだろう。輸出先の国で不要だと言われれば、国内に出回るリンゴが飽和状態になり価格は暴落。特に海外から人気の高い黄色品種は国内需要を大幅に上回ってしまい大ダメージを受けるだろう。今や輸出市場は必要不可欠な取引先であり、継続して販売していくためには、高品質生産が必須条件なのである。

ベトナム輸出9年目にあたって

今年で9年目となるベトナム輸出。ベトナムはリンゴ輸入量が世界で第5位という大きな市場であるため、店頭にはさまざまな国から輸入されたリンゴが並ぶ。その中でひときわ高価な本県産リンゴが勝負できるのは、やはり高品質だからに他ならない。

しかしその反面、温暖化や労働力不足などの問題を抱えながらも、生産から保管、輸送に至るまで、鮮度重視で店頭まで届けることを第一優先に据えていかなければならない。

「特別なリンゴがほしい」と手に取ってくれた消費者に、期待通りのリンゴを届けることが、私たち産地が継続してきたプライドだ。今一度、適期作業・早期収穫を心掛け、最高のリンゴを世界に届けたい。

生産情報

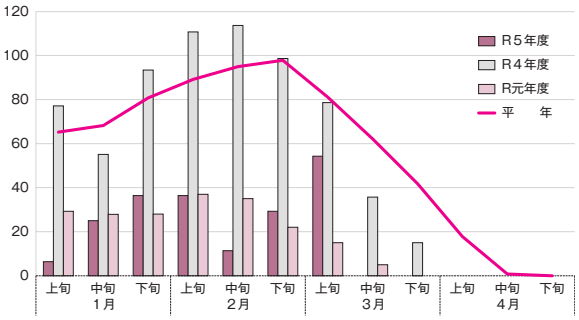
農業振興課主任　齊藤 大貴

●記録的な雪の少なさ

ＪＡ相馬村管内における3月上旬の平均積雪量は54㎝となっており、昨年と比べて25㎝下回っています。本年は暖冬傾向が続いたことから記録的な雪の少なさが伺えました。

●春の到来目前、マメコバチ収容も視野に

早い年だと3月末にはマメコバチが筒内活動期に入ります。前段の通り、本年は温暖傾向のためマメコバチの冷蔵庫への収容も見据えて作業を進めましょう。また、樹や品種によっては花芽不足や弱小芽も見られています。花芽不足や弱小芽が多く見られる園地では、特に人工授粉による結実確保に努めましょう。



今期の積雪量調査

●切り口及び傷口にバッチレート

近年、腐らん病の発生が多い傾向となっています。剪定によって生じた切り口にはバッチレートを塗り、感染の防止とカルス形成の促進に努めて下さい。尚、枝腐らんは徹底的に切り取ることはもちろん、5～6月以降も発病してくることから随時見回り、見つけ次第切り取って下さい。また、病原菌は外観上の病斑よりも先まで侵入しているので、切り取る際は健全部を5㎝以上含めて切り取り、病原菌が残らないようにしましょう。

防除暦でコンフーザーRが採用のため、５月中旬の設置に向けて春作業は計画的に！

●SS防除開始に向け、防除用水とSS走行路の確保は早めに

昨年を振り返ってみますと、管内の生育が早いところでは4月11日から第1回目の薬剤散布が開始されています。一部園地では防除用水の確保が間に合わず、適期散布が遅れたところも伺えました。今後の気温によって生育の早まりが予想される場合は天気予報に注視し、剪定枝の後片付けなども早めに進めてSS走行路の確保に努めましょう。尚、雪解け水等により園地の地盤が緩んでいる場合は非常に危険です。園地の状況把握に努め、無理なSS防除は行わないこととし、安全第一を最優先として下さるようお願いします。

●りんご病害虫防除暦（第１回目）

散布計画	散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備　考
1	300ﾘｯﾄﾙ	展葉１週間後頃	ベフラン（液） バリアード（顆水） ハーベストオイル アプロード（F）	1,000倍 4,000倍 200倍 1000倍	★ナシマルカイガラムシの発生が多い樹では、発芽前にハーベストオイル50倍の特別散布を実施する。 ●混用順序 ①水→②ハーベストオイル→③バリアート→④アプロード→⑤ベフラン

果実販売動向

販売課　田村　慎平

平素からJA相馬村フルーツステーションをご利用いただき誠にありがとうございます。

2月の果実販売動向は、先月に引き続き全般的に品薄・単価高での推移となりました。

ミカンに関しては最終盤を迎え、入荷量の減少に伴い売場縮小が進む中、売価の高さにより荷動きは鈍いものの、流通量の少なさから概ね保合いでの推移となりました。

中・晩柑類に関しては、高値基調の推移により緩慢な荷動きではあるものの、果実全般の流通量の少なさから継続的な引き合いがあり、末端では売場の拡大が進みました。ただし本年度は小玉傾向となっており、入荷比率の高い小玉果に関しては比較的弱含みの展開となりました。

イチゴに関しては産地での天候不順もあり、2番果のピークを迎える時期でしたが、想定より流通量が増えず、売場展開も限定的なものになりました。ただし、月の中ごろには企画販売が多く組まれたため、一時的に荷動きが活発化し、価格は概ね保合での推移となりました。

リンゴに関しては、旧正月向けの輸出需要が落ち着きを見せ、下位等級品を中心に国内市場への流通量は増加傾向になりました。競合品目も少なくなり、売場の拡大が進みましたが売価は先月に引き続き高いままとなり、企画も多く組まれましたが、企画は36玉に集中していたため、それ以外の等階級に関しては荷動きの鈍い状況となりました。

今後リンゴに関しては、入荷比率の高い下位等級品は引き続き厳しい販売が続く見通しであるものの、上位等級品は、総体量の少なさから36玉を中心に引き合いが予想され、安定した価格推移が続く見通しです。

黄色品種に関しては特に、例年より売価高となっており、売場も狭いことから、注文は企画分に限定され、鈍い荷動きとなると思われます。ただし3月からは台湾・香港向けの王林・サンふじの輸出が本格化し、国内向けにもCA貯蔵品が出回りだします。競合品種も少なくなっていくため、価格はある程度高値を維持したまま荷動きは徐々に回復していくと思われます。本年度は産地在庫も少なくなってしまっておりますが、引き続き市場情勢を見極めながら有利販売に努めてまいります。

慎重かつスピーディーに運ばれる飛馬りんご

全農あおもりデータ（2／29 累計）

品　種	サンつがる	早生ふじ	トキ	きおう	シナノゴールド	王林	サンジョナ	サンふじ	その他	合計
単　価（円）	3,309	4,384	3,666	3,116	4,014	4,040	4,199	3,827	3,849	3,788
前年比（%）	134	150	139	117	128	123	142	145	144	140
販売数量（箱）	613,796	512,637	174,638	152,226	20,846	307,946	186,224	2,249,066	259,896	4,821,484
前年比（%）	69	63	62	97	239	79	74	80	79	75

いきいき女性部通信

事務局　石田　有希子

初の実開催で挨拶をする田澤部長

議長を務めた井沢いね子さん

議案報告をする中嶋副部長、
エルダーミセス部会大黒谷部長

2月25日長慶閣にて、女性部は『第60回通常総会』と、記念コンサートを開催しました。田澤真由美部長が就任して以来、初めての実開催。しかも4年ぶりということで、女性部役員一同、入念に打ち合わせをして臨みました。

総会は滞りなく行われ、いよいよ第二部は、青森県を中心に活動されている女性ユニット『サエラ』さんのコンサートです。「せっかくだから地域のみなさんにも楽しんでもらいたい」と、田澤部長のアイデアに役員が賛同し、地域の方々にも周知。当日は、女性部員や関係者も含めて120名ほどが会場に集まりました。

入場料の代わりとして協力のお願いをした能登半島地震被害支援募金には、75,762円ものお金が集まりました。ご来場いただいたみなさまに、役員一同感謝しています。ありがとうございました。

コンサート中、会場のお客さんは、涙を流したり、一緒に手踊りをしたりして、大変盛り上がっていました♪

地域の方は「女性部がよい企画をやってくれて嬉しい。歌声に大変感動した。1時間があっという間だった」と感想を話し、また田澤部長は「みなさんに楽しんでもらえてよかった。これからも女性部らしく、地域に貢献していきたい」と令和6年事業への意欲を話していました。

現在の女性部には、みんなで話し合って、自分のためや地域のため、JAのために、学習や貢献をしていこうという雰囲気があります。

どんな様子か活動を見てみたいと思う方がいらっしゃれば、いつでも事務局に教えてください◎

事務局　石田（84-3215）

伸びやかな歌声で観客を魅了するサエラさん

『嫁こさ来い』の手踊りで盛り上がる部員のみなさん

より高位平準化を

2月6日、農業振興課は、飛馬ふじ・葉とらずサンふじ剪定会を、五所地区田澤俊明さんの園地で開催し、生産者24名が参加した。

冒頭、田中裕滋課長補佐は、令和5年産りんごの状況に触れ、整枝剪定等による受光態勢の適正化が高品質安定生産につながると強調した。

講師の田澤さんは、フラン病をしっかり見極めてから切り始めることや、風通しや光の通りを意識しながらも、来年を見据えて枝をどう残していくかが大切だと説明。また「葉の枚数をしっかり確保する剪定が重要」と飛馬ふじ、葉とらずサンふじ栽培のポイントを話した。

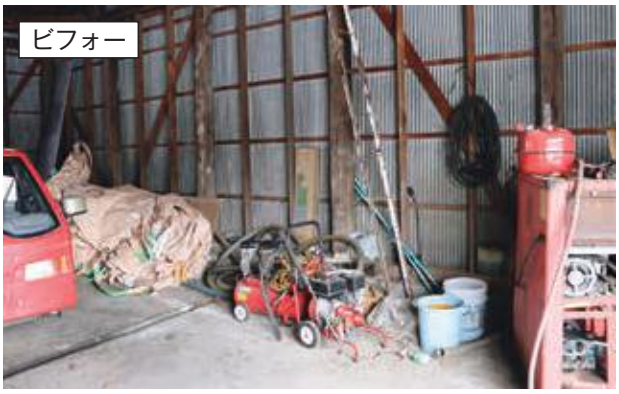
高品質生産の剪定を実践し説明する田澤俊明さん

時間短縮ストレスフリーに

2月14日、弘前市が長慶閣にてトヨタ式カイゼン生産者向け説明会を開催。後日2月21日、長慶共防のスプレーヤー格納倉庫にて、実践編のセミナーが開催され、トヨタの講師らと共に2S（整理整頓）を実践した。

成田達也さんは「こういうものは勢いが大事。複数人で行えば素早く片付く。昔から保管してある部品は、今のスプレーヤーに合わないものもある。良いきっかけをもらったお陰でサッパリして、今年のりんご作業にとりかかれる」と本年産りんご作業に一層の意欲を見せた。

トヨタの講師と2S（整理整頓）をした棚



その後、役員で一気に片付けが進んだSS格納庫

技術を学ぶ

2月15日、わい化研究会は坂市の三浦均さんの園地にて、見本樹剪定会を開催した。これは毎年行っている事業で、板柳から講師を招いて実施している。今年は女性向けにも開催してはどうかと役員の提案があり、当JA女性部員中心に参加者を募ったところ、14名ほどの女性が参加した。講師の福士華奈子さんは「その園地に合った剪定を心掛けることが大切」と話し、参加者の山崎奈津美さんは「現在剪定を勉強中。女性の班があり、よかった。また開催してほしい」と充実した表情をうかべていた。

雨の中、しっかり講師の話をきく参加者ら

国内外出荷を意識して産地収量維持を牽引

2月21日、弘前市のプラザホテルで当ＪＡ共同防除連合会の幹部研修会が実施された。地域農業の牽引者とも云える共防連。出席した8団体の幹部らは研修会で、全国的に農業の現場でＩＣＴ技術活用が進められていることもあり、スマホアプリで作業記録や散布農薬管理できる『あい作（ＮＴＴデータ株式会社）』の説明を聞いた。また、りんご対策協議会事務局長高澤至氏による講演会を聞き、輸出リンゴの重要性を学んだ。参加した会員らは、使用可能薬剤が減少する中ではあるが、本年から導入する交信攪乱剤コンフューザーＲの使用も含めて、引き続きしっかり防除に取り組もうと意識していた。

本日は良い情報もらって帰りましょう！と挨拶をする成田陽平副会長

飛馬りんご販売に勢い！

2月29日、弘前市立相馬中学校にて2学年生徒16名を対象に、ＪＡ相馬村職員による『飛馬りんご』の授業を行なった。

これは、4月11日に同生徒が修学旅行先の東京でりんごを販売するために、ＪＡに依頼して販売の手法を学ぶために開催したもの。

4年ぶりに復活する同販売会は、かつては2004年から毎年開催されており、ＪＡ相馬村から販売ノウハウの授業も実施していた。今回の授業は、販売に特化した内容で「東京にいる県内出身の方もいる。恥ずかしがらずにぜひ津軽弁で話してほしい」と齊藤指導員からの話を受け、生徒らは実際にハンテンを着て「いらっしゃいませ！たんげめぇよ（とてもおいしいよ）」と声をだしながら、販売シミュレーションを実施した。

本番では試食や試飲を提供しながら、ふじ約100個、缶ジュース90本を、あおもり北彩館東京店にて販売する。飛馬りんごを通して、郷土への誇りが強まれば最高だ。

販売員とお客様役に分かれて実践し理解を深める

売場を再現して目を引く工夫を発見してもらう

笑顔！　津軽弁！　堂々と！　販売を楽しんで下さいね

オセがつかないよう丁寧にりんごを扱う生徒たち

直売所「林檎の森」

所員　山田 理圭

いつも直売所「林檎の森」をご利用いただき、ありがとうございます。

3月に入り穏やかな天候に恵まれ、春らしい気候になってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？

直売所では今年もマイタケ菌販売の季節がやってまいりました。

1個200円で販売し、約3000個入荷いたしました。1年目に舞茸が出てこないことがありますが、マイタケ菌は生きているので、出てくるまで栽培に再度挑戦してみてください。

販売開始は3月下旬頃を予定しておりますが、既にご予約のお客様も多数いらっしゃいますので、お早目のご購入をお勧めします。在庫がなくなり次第終了となりますので、予めご了承ください。

その他、店内では毎年恒例の「星もち（干し餅）」が好評販売中です。コーヒー味や、野菜や果物といったお馴染みの味で、大人気商品となっております。ぜひ一度ご賞味ください。

また、徐々ではありますが、地物野菜も入荷され始めて来ました、安くて新鮮な野菜を買いに、ご来店されてみてはいかがでしょうか？

毎年改良を重ねながら手作りしている『星もち』です

最後に、営業時間変更のお知らせです。

★3月25日（月）より、営業時間が8時～17時になります。

会員搬入時間は**7時45分**からになりますので、お間違いのないよう、よろしくお願い申し上げます。

湯口SS

所員　小山内 一翔

いつも当SSをご利用いただき誠にありがとうございます。組合員の皆様、平素、携行缶へのガソリンの販売記録にご協力いただきありがとうございます。

今月はpayayアプリで最大3%ポイントが戻ってくるキャンペーンを実施中です。

最大3回までご利用できます。クーポンの取得は店頭ポスターのバーコードリーダーで出来ますので是非お試しください。

洗車機が大好評稼働中です。

今年は積雪量が少なく、洗車をする大勢のお客様にご利用頂いております。

連日並ぶ盛況ですので、空いてたりしたらチャンス!!　是非ご利用ください。

皆様のご来店をお待ちしております。

青年部通信

事務局　佐々木 善久

2月22日、青年部は中弘南黒地区農協青年部交流会に参加しました。相馬村・つがる弘前・津軽みらいの3農協の青年部合わせて75名の盟友が参加し、さくら野で開催されたボウリング大会が開催では、熱い試合が繰り広げられました。

1ゲーム目は、久しぶりのボウリングということもあり、思うようにスコアが伸びない部員続出！優勝が懸かっているからこそ一投一投が真剣でした。ストライクやスペアが出た際は、みんなで大盛あがりです。一番の盛り上がりを見せていた当ＪＡ青年部の所にはスコアが気になるのか、他地区の青年部員が席を超えやって来る場面も。

ガッツポーズやハイタッチはもちろん、中には悔しそうな表情が入り混じり、最後まで目が離せない展開となりました。

ボウリング大会終了後には、パークホテルに移動し、表彰式と懇親会が行われました。試合を振り返りながらまずは「ＪＡ相馬村青年部」と呼ばれるのを期待するも、呼ばれるのは津軽みらいや、つがる弘前の青年部員ばかり…。しかし、我ら当ＪＡ青年部は、今年は一味違いました。なんと、2名が入賞しましたのです。そして入賞者で景品を決めるくじ引きを行った結果、なんとなんと、1等の商品を見事ゲット！　喜ぶ姿に私も嬉しくなりました。最後に、みんなで集合写真を撮影し、無事閉会となりましたが、ボウリングから懇親会まで、終始盛り上がりを見せた交流会となりました。

久しぶりのボウリングに緊張

入賞を目指した熱い戦い

景品ゲット!!

熱い戦いとなったボウリング大会でした。スコアは秘密ですが、林崎樹さんが賞を取ることができました。中身はT-falの鍋セット!!　これからの食卓に大活躍ですね。

今年も１年がんばりましょう！

地域おこし協力隊 活動記 Vol.97

こんにちは。彼女に愛車「サンバー」を事故られ、最近ブルーな気持ちになっている穂坂です。ことあるごとに「今年の冬は冬じゃない」という声を聞きますが、運転には気を付けないといけないですね。

生活するうえでは雪が少なくて助かっていますが、なきゃないで困ったのが「スキー大会」です。大会前日に雪が降り、なんとか開催することができました。スキー経験者が多く、ハイレベルな大会になっていました。ソリや雪上綱引きなどのレクリエーションもあって、大人も子どもも大盛り上がりのイベントになっていました。

前日に雪が降り、当日は快晴。天気に恵まれすぎ～、神がかってる～。

もう一つ、雪がなくて困ったのが「沢田ろうそくまつり」です。まつり自体は諸事情があり中止となりましたが、参拝に来る人のために参道整備・おもてなし等を行いました。

朝早くから、沢田の町会員、沢田ろうそくまつり実行委員、弘前大学の学生、一般ボランティアなどが集まり、参道の準備をしました。相馬ハンタークラブ特製のマタギ鍋や成岩商店の甘酒がふるまわれたり、沢田のばっちゃの山菜やミニ炭俵が売られたり、登山囃子が演奏されたり…まつりではないものの、大いに賑わっていました。

ミニ炭俵づくりワークショップは大好評。参加者は、ばっちゃの（難解な!?）津軽弁での説明を聞きながら頑張っていました。

周知のこととは思いますが、「スキー大会」を主催する相馬地区体育協会、「沢田ろうそくまつり」を企画・運営する実行委員会はメンバーの後継者不足に悩んでいます。ただ、相馬地区全体の人口が減るなかで、各種団体の担い手が不足するのは自明の理であります。後継者・担い手の確保は急務ですが、その前に組織体制の見直し、イベントや行事の規模・あり方の見直しが必要だと思います。人がいないなら、いないなりのやり方があると思うのです。時代は令和、さらにコロナ禍を経て変容した社会や人々の価値観に合わせていく工夫も必要だと思うのです。相馬の大切な行事やイベントを今後も継続していくために、「変えたくないものは何なのか、変えられるものは何なのか、変えなければならないものは何なのか」を本気で考える時期にあると思います。

一般参拝で、協力隊OG鹿内さん、石田さん、OBの米山さんが来ました。いまも相馬の〝協力者〟です。

（＊）相馬地区公式HP（http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/）

自動車税（種別割）についてのお知らせ

● 自動車税（種別割）の住所変更届について

自動車税（種別割）の納税通知書は、原則として自動車検査証（車検証）に記載された住所にお送りしています。

転居等で住所が変わった場合は、運輸支局で住所の変更登録手続きをしなければなりませんが、事情によりすぐに住所の変更登録ができない場合は、中南地域県民局県税部へご連絡ください。

また、県ホームページからも届出することができます。

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/soumu/zeimu/top.html

ページ上段「自動車税種別割住所変更届」をご覧ください。

● 自動車税（種別割）の口座振替について（６月納期分）

自動車税（種別割）の納付は、便利で安全・確実な口座振替をご利用ください。

来年度（令和６年度）の口座振替の申込期限は令和６年４月30日です。

申込用紙は、各取扱金融機関・中南地域県民局県税部の窓口に備え付けてありますので、お気軽にお問い合わせください。

なお、車検の継続検査時、運輸支局において電子的に自動車税（種別割）の納税確認を行い、自動車税（種別割）納税証明書の提示は不要となるため、口座振替済の通知書（兼納税証明書）は送付されません。

【問合せ先】中南地域県民局県税部　納税管理課

電話 **0172-32-4341**（直通）

JA 相馬村概況

〈令和６年２月末日現在〉

組合員数…… 854 人
（うち准組合員数 …… 388 人）
出　資　金……604,235 千円
貯　金　額…… 10,133,306 千円
共済保有高……2,994,155 万円

理事会だより

2月20日（火）

1）上半期監事監査総評について
2）１月末残高試算表について
3）組合員の脱退について
4）役員の行為基準の一部変更（設定）について
5）ＪＡ自然災害損害調査員設置要領の改訂について
6）経営者保証ガイドラインに関する対応方針について
7）貸付関係について
8）りんご販売関係について
9）固定資産の取得について

編集部のつぶやき～編集後記～

広報誌生誕５００号記念！　おめでとうございます！　ありがとうございます！

今回改めて広報誌を読み返すと、毎号濃い内容と、地域の方々の懐かしい写真で手が止まることもしばしば。その中で、編集後記に『回数を重ねることによくなっていくような感じはしますが、いまだに満足感を味わえません』という言葉がありました。第19号の、成田正晴さんの言葉です。強く心に響いたのは、私も同じように感じているから。私は24冊担当させてもらいましたが、毎号、満足感と反省点とが入り混じった気持ちです。しかし『やりたいようにやれるのが広報』とも。次号からも、自分のワクワクを大切にしながら、組合員のみなさまに情報をお届けできるよう、がんばって参ります！

yuki

管内園地で見つけた雪だるま。ユニークな姿が最高！ワクワクを作り出す農家さん、さすがです！

今月のあなたの運勢・4月　《モナ・カサンドラ》

◆全体運　●健康運　★幸運の食べ物

牡羊座　3/21～4/19
◆気になることは多くても目標を絞り込んで。一つに集中すれば大きな成果を上げられます。人気運が上昇中！
●足元のケアを重点的に。歩きやすい靴を選んで
★ジャガイモ

牡牛座　4/20～5/20
◆上昇運。友人との時間を楽しめます。お花見など春ならではのプランを立てて。技術習得のための勉強もお勧め
●おしゃべりでストレス発散。知人と体操すると◎
★イチゴ

双子座　5/21～6/21
◆あれこれやろうとするとどれも中途半端になりがち。目標を絞り込み集中して取り組みましょう。連絡は早めに
●カルシウムをしっかり取って。骨粗しょう症の予防を
★セロリ

蟹座　6/22～7/22
◆面倒事の多い時期ですがうまく解決していけます。諦めずに取り組んで。下旬には協力者が現れます
●散歩に旅行。たくさん歩いて。動き回るほど快調に
★タケノコ

獅子座　7/23～8/22
◆人気運に恵まれ注目度が上がっています。周りの目を意識しながら動きましょう。おしゃれに時間をかけるのは◎
●古傷が痛むことがあるかも。弱い部分ほど大切に
★サヤエンドウ

乙女座　8/23～9/22
◆あれこれ多忙なときですが上昇運。めどの立たないことは下旬に動きがある兆し。待ってみるのもいいでしょう
●うっかりのけがに気を付けて。食事は腹八分目に
★フキのとう

天秤座　9/23～10/23
◆活発な動きのあるとき。状況が二転三転することもありますが、おおむね良い方向に進むので前向きに考えて
●生活リズムを整えて。発酵食品を食べるのも◎
★雪白体菜

蠍座　10/24～11/22
◆着実に前へと進んでいけるとき。計画を立てて動きましょう。気になっていたことの効率アップも可能です
●楽しくできる健康法を探して体力アップ!
★ソラマメ

射手座　11/23～12/21
◆とてもパワフル。それだけにあなた自身がトラブルメーカーになってしまう危険もチラリ。人の意見に耳を傾けて
●栄養価が高く消化の良いものを。胃腸をいたわって
★レタス

山羊座　12/22～1/19
◆前半はやや厳しいものの上昇運。部屋の中をすっきりきれいに片付けると懸案事項も解決へと向かいます
●春を感じながら散策を。血行の良くなる体操も吉
★タラの芽

水瓶座　1/20～2/18
◆良い波に乗ってスムーズに進みだします。下旬からストップがかかるので、できるだけ前倒しで進めておきましょう
●野菜たっぷりの食事で元気を回復。バランス良く
★グリーンピース

魚座　2/19～3/20
◆気持ちがせきそう。急ぎのものほど、ゆっくり丁寧にやるよう心がけて。見落としを防いで好結果に。外食にツキ
●筋力アップのチャンス。ハードなメニューに挑戦を
★根ミツバ

ソトから目線の相馬の魅力

ソトのウチの目

米山竜一さん

1　冬に咲くさくらライトアップ

2　りんご畑からのぞく岩木山

3　相馬ねぷたの写真撮影係も継続

4　2024年沢田ろうそくまつり

米山竜一さん

※画像1～4、米山さん撮影

「散髪は今も五所の沢田理容店さんにご厄介になっています」そう話してくれたのは、相馬地区地域おこし協力隊第一期生（2015年7月から3年弱）を務められた米山さん。現在は青森市在住で、東奥日報本社に勤務している。

冬の夜、弘前公園で撮った写真を当時の弘前市相馬総合支所長に見いだされたのがきっかけで、弘前の冬の美しさを多くの方に見てもらおうと、弘前公園の『冬に咲く桜ライトアップ』の企画を主催して5年が経つ。取材や紙面制作の傍ら、企画立ち上げ当初からクラウドファンディングなどで資金調達。そのノウハウを、相馬にも還元されている。相馬小野球部が全国大会に出場する際、米山さんにクラウドファンディングページの立ち上げを依頼したほか、相馬ねぷた愛好会の弘前合同運行や、地区内野球チームの試合の撮影を任されるなど、今でも地域住民から求められる存在だ。

「相馬地区は今でもふらっと訪れて、知り合いと話をできたり、一緒に活動できる場所だと思っています。そしてそれば『第二の故郷』よりも重要度の高い場所だと思うんです」その言葉に、相馬地区への愛と感謝が滲み出ていた。

JA相馬村広報 りんごの森

2024.3　Vol.500

■発行者　相馬村農業協同組合
〒036-1593　青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215　FAX.0172-84-3497

■編　集　総務課広報
ホームページURL　http://www.ja-souma.or.jp/
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■発行日　2024年３月15日

本所	0172−84−3215㈹
本所フルーツステーション	0172−84−3293㈹
本所フルーツステーション特産販売	0172−84−3218㈹
ＪＡ共済事故受付センター	0120−258931
湯口支所・機械化センター	0172−84−2470㈹
湯口セルフスタンド	0172−84−2550㈹
直売所「林檎の森」	0172−84−3411㈹
津軽ＬＰガス保安センター	0172−36−0404㈹
ライスセンター	0172−84−2217㈹
りんご加工センターＡ棟	0172−84−3380㈹
相馬支所・フルーツステーション	0172−84−2534㈹
ＪＡ津軽葬祭センター	0120−7676−60